

令和3年度事業報告

少子高齢化の進展、疾病構造の変化、社会構造の複雑化等に対応し、県民一人ひとりが満足できる生涯をおくる上で欠かすことの出来ない健康づくりへの取り組みにおいて、疾病予防や早期発見の役割を担う当会の使命はますます重要なものとなっている。

当会は昭和15年の設立以来、長年培った健診技術と実績を踏まえて、県民の健康増進に一層寄与できるよう、結核（感染症）をはじめとする呼吸器疾患や生活習慣病等の予防の為に健康診断や健康意識の醸成の為に普及啓発など、県民一人ひとりが満足できる生涯をおくる上で不可欠な健康づくりへの取り組みを、総合的、計画的に展開しているが、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大により、事業に影響を受けることとなった。

健診事業については、県民の健康管理及び健康増進を目指し、結核を中心とする疾病の予防を図るため、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づき、事業所従業員、地域住民及び児童・生徒等を対象に、各種検診車による巡回や当会総合健診センターにおいて定期健康診断のほか、生活習慣病予防健診、特定健診などを実施した。

普及啓発事業については、県内行政機関、静岡県結核予防婦人会等との連携のもとに、結核予防週間及び複十字シール運動等の啓発キャンペーン期間中に広報事業を展開したほか、広報誌「結核しずおか」の作成や、結核予防に関する各種機関誌、ポスター、パンフレット等の関係機関への配布並びに出版物の頒布及びパネルの貸出し、講演会、研修会等の開催参画などを通して、結核予防思想の普及啓発に努めた。

これらの業務運営・執行に当たり、令和3年度における重点方針を定め取り組んだ。

1. 新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、職員及び受診者への基本的な感染対策の徹底。また、健診サービスの質の向上を図るために、受診し易い環境の設定、健診業務の精度管理の向上のための取り組みや、個人情報の保護対策等、情報セキュリティと受診者のプライバシー保護の徹底。
2. 職員の能力を最大限に発揮することを目指した、時代に即した人材確保と人材育成。
3. 顧客サービスの向上として、一般的な健康診断にがん検診などのオプション検査の同時受診を実施。
4. 当会の経営改善を目的に、平成30年度に策定した長期経営計画に沿って、社屋等の建替えを実施。車庫の建設及び胸部レントゲン車1台の更新に着手した。

5. 管理職による経営管理会議や課長会議を開催し、健診事業の課題や経営課題等を定期的に精査し、課題の解決策や効率的な事業推進方策などに取り組むことによる、経営基盤の強化。

I 健康診断事業の実施

結核を中心とする呼吸器疾患及び生活習慣病予防のための健康診断事業として、各種検診車で県内各地を巡回するとともに、当会総合健診センターを活用し、県民の健康を維持する活動を行った。

区分を住民検診、学校検診、事業所検診、施設・接触者検診に分け健康診断事業に取り組んだ。

1 住民検診

住民検診は、感染症法・健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律や、「がん検診推進事業」「がん検診受診勧奨事業」により実施される検診を1人でも多くの方に受診していただくため、受診しやすい環境を作るとともに、市町の担当者や静岡県結核予防婦人会の協力を得て受診勧奨を行い早期発見に努めた。

区 分	令和3年度実績 (人)	令和2年度実績 (人)	対前年度比 (%)
結核・肺がん検診	51,536	58,229	88.5
肺がん喀痰細胞診検査	1,347	1,261	106.8
胃がん検診	3,333	2,781	119.8
乳がん検診	4,997	4,042	123.6
子宮頸がん検診	2,840	2,209	128.6
大腸がん検診	5,403	4,850	111.4
骨粗しょう症検診	555	532	104.3
計	70,011	73,904	94.7

2 学校検診

学校検診は、学校保健安全法により実施される検診で、県内の公・私立高等学校・特別支援学校・大学・専門学校・小・中学校の検診を行った。

区 分	令和3年度実績 (人)	令和2年度実績 (人)	対前年度比 (%)
結核検診	42,735	43,781	97.6
計	42,735	43,781	97.6

3 事業所検診

事業所検診は、労働安全衛生法により実施される健診で、県内の事業所の定期健康診断・特殊健診を行った。さらに、健康保険法により実施される生活習慣病予防健診や、高齢者の医療の確保に関する法律により実施される特定健診も行った。

また、がん検診（肺がん・胃がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん・前立腺がん）も同時受診を実施し、早期発見に努めた。

※結核・肺がん検診・胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診の人数は定期健康診断からの再掲を含みます。

区 分	令和3年度実績 (人)	令和2年度実績 (人)	対前年度比 (%)
定期健康診断	21,915	21,458	102.1
(定期健康診断内 特定健診)	922	880	104.8
結核・肺がん検診	31,096	29,644	104.9
胃がん検診	4,646	4,377	106.1
乳がん検診	1,494	1,411	105.9
子宮頸がん検診	206	198	104.0
計	59,357	57,088	104.0

4 施設・接触者検診

施設検診は、リフト付き胸部検診車やポータブル撮影機器を使用し、感染症法により施設の入所者（利用者）を対象に実施される検診と、労働安全衛生法により従業員を対象に実施される健診を行った。

接触者検診は、感染症法により実施される検診で、県・政令市と協力して行った。

区 分	令和3年度実績 (人)	令和2年度実績 (人)	対前年度比 (%)
定期健康診断（施設検診）	863	789	109.4
結核検診（施設検診）	2,999	2,976	100.8
結核検診（接触者検診）	110	114	96.5
計	3,972	3,879	102.4

合 計 (1+2+3+4)	176,075	178,652	98.6
---------------	---------	---------	------

5 各検診結果の集計及び統計処理

独自のシステムの運用により、各検診結果の集計及び統計処理を行い、業務の効率化や精度管理に努めた。

II 普及啓発事業

1 結核予防週間

(1) 期 間 令和3年9月24日(金)～30日(木)

(2) 啓発活動

① 結核予防キャンペーンは、新型コロナウイルスの感染拡大の第5波による緊急事態宣言が発令されたことにより、中止とした。

② ポスターの配布及び掲示による広報

ア 結核予防等の正しい知識と対策が広く県民に浸透するよう、ポスターの掲示・資料の配布を県・市町に依頼した。

イ バスや電車内でのポスター掲示により結核予防を呼び掛けた。

2 普及啓発資料の作成、配布

(1) 広報誌「結核しずおか」の発行

年2回発行し、県民の健康増進に寄与することを目的に関係機関のご協力をいただき、結核予防を題材にした知識の普及啓発及び当会の検診事業の紹介について掲載した。

県、市町、病院等関係機関、事業所、複十字シール運動協力者等への配布を目的に3,000部を発行した。

(2) 啓発カレンダーの作成、配布

県、市町及び関係機関に配布した。

(3) 結核予防週間ポスター及びパンフレット(公益財団法人結核予防会作成)を県、市町に配布した。

(4) 「複十字」(公益財団法人結核予防会作成)、「健康の輪」(全国結核予防婦人団体連絡協議会作成)の機関紙を県、市町及び関係機関に配布した。

3 県、市町、関係団体が行う健康まつり等への参加

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、県、市町、関係団体の各種行事が中止となった。

4 報道機関等への情報提供

結核予防関係の主要行事、結核予防関係資料等ニュース素材を報道機関に提供、広報活動の充実に努めた。

5 ホームページでの情報公開

公正で開かれた活動の推進及び結核を中心とする疾病の予防思想を普及するため、活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開した。

6 講演会の開催

県、市町の行政担当者や保健師等が健康増進の正しい知識を県民に広めることを目的に、公益財団法人結核予防会複十字病院から講師を招き、「結核治療における栄養管理の重要性～免疫力低下を招く、低栄養を防ごう～」について、令和3年12月6日(月)から12月12日(日)まで、YouTube上で録画配信による講演会を開催した。

7 表 彰

県内各地域の結核予防事業の一層の推進を目的に、結核予防功労者(個人)及び結核予防対策推進優良市町(団体)の表彰のため、県内各保健所長からの推薦を依頼した。なお、令和3年度は該当者なしであった。

8 複十字シール運動

結核予防思想の普及啓発活動、発展途上国への結核対策支援等の財源を得るために、公益財団法人結核予防会が主催する複十字シールを媒体とした全国一斉の募金活動に協力した。静岡県、市町、静岡県結核予防婦人会と連携し、マスメディア等の媒体を通して結核予防思想の普及啓発に努めた。当会は、設立以来70年以上にわたり、県民を対象に募金活動を実施している。

(1) 募金実績額 4,404,449円(組織募金 3,374,320円 郵送募金 1,030,129円)

(2) 運動期間 令和3年8月1日から12月末日まで

(3) 運動方法

① 組織募金

従来どおり、静岡県結核予防婦人会の各支部に対して、それぞれの実情に即した方法で募金活動を実施した。また、募金活動資金として募金額により定めた額を還元した。

② 郵送募金

郵送により個人、事業所、各種団体、寺院、神社に募金をお願いした。

③ その他

募金箱の年間設置をお願いした。

ア 秩父宮記念公園 (御殿場市)

イ 富士山こどもの国 (富士市)

ウ 静岡市ふれあい健康増進館ゆらら (静岡市)

エ 富士山静岡空港 (牧之原市)

オ ラペック静岡 (静岡市)

9 予防資材取扱事業

公益財団法人結核予防会が出版している一般向けのパンフレットや医師、保健師、看護師、行政事務職向けの専門書を販売し、結核に関する知識の普及啓発に努めた。

III 関係機関との連携

結核予防活動を行っている静岡県結核予防婦人会の次の事業に対し、全面的に協力、支援を行った。

① 静岡県結核予防婦人会総会、会議等

② 静岡県結核予防リーダー研修会

③ 結核予防婦人団体中央講習会

IV 施設、設備の整備

令和3年10月に新社屋が完成、その後11月から旧社屋を解体し、その土地に車庫の建設を開始した。

検診事業のデジタル化への対応については、胸部レントゲン車1台の更新に着手した。

V 諸会議等の開催

1 理事会・評議員会

理事会・評議員会は、事業計画、予算、決算等、定款に基づく事項を審議し、議決又は承認された。

2 経営管理会議等

各種事業の推進状況及び経営状態の現状を把握・精査し、新規事業の開拓や効率的な事業推進方策を検討し、安定した運営に資するため、当会の課長以上で構成する経営管理会議等を定期的で開催した。

3 ブロック会議、連絡会議

- (1) 令和3年度東海北陸ブロック会議は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、書面での開催とした。
- (2) 令和3年度結核予防会全国支部事務連絡会議(東京都で開催)は新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインにて開催された。

4 結核予防全国大会

令和4年3月8日(火)東京都にてオンラインにて開催された第73回大会に出席した。

5 職員の研修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種研修会等は延期または中止となった。

(1) 静岡県結核予防婦人会主催の研修会支援

オンラインにて開催した静岡県結核予防リーダー研修会(静岡県からの委託事業)の後援を行い職員も研修会に参加した。

VI 公益財団法人としての運営

新制度の下、自己責任運営が求められ、ガバナンス、法令、定款、諸規程の遵守、加えて透明性の高い経営を基本的な心構えとして要請されており、公益財団法人としての使命を果たし県民から大きな信頼を得る法人の運営に努めた。